

令和3年度 常葉大学教職大学院 第1回連携協力協議会

◆ 日 時 令和3年5月7日（金）14：00～16：30

◆ 場 所 常葉大学静岡草薙キャンパス A棟2階A210教室 他

次 第

進行（秋山）

- 1 【全体会】 14：00～14：35 A210教室
- (1) あいさつ 窪田 眞二 副学長
- (2) 連携協力協議会委員委嘱
- (3) 教員紹介、趣旨説明 久米 昭洋 研究科長
- (4) アクションリサーチ（AR）について （AR担当：粉川）

— 移動 —（14：35～14：40）

- 2 【グループ別協議】 14：40～15：20
- (1) グループ別協議
- ・ 行政、協力施設 < A209 教室 >
 - ・ ARIの連携協力校 < A210 教室 >
 - ・ ARII・IIIの連携協力校 < A210 教室 >
 - ・ 現職教員原籍校 < A210 教室 >
 - ・ 外国人児童教育観察実習校 < 模擬面接室3 >
- (2) グループ別協議の報告

— 休憩及び移動 —（15：20～15：30）

- 3 【講演会】 15：30～16：30 A210教室
- ・ 演題 「これからの教員研修の展開と職能形成」
 - ・ 講師 独立行政法人 教職員支援機構 つくば中央研修センター長 清國 祐二 氏

— 閉会 —（16：30）

【グループ別協議内容】

委員から出された意見（抜粋）	大学院側の回答
<p>大学院の創立当初の思いを大切にし、今後も魅力的な大学院であり続けてほしい。</p>	
<p>学部卒院生が、ARやボランティアで来てくれることは大変有り難い。本校としては、いくら来てくれても構わない。</p>	
<p>現職教員院生については、大学院での学びが本人にも学校にもよい影響を与えてくれるものと期待している。</p>	
<p>本人は、学校を元気にすることを目的に研究すると言っている。本人との連携を密にし、学校全体で協力したいと思う。</p>	
<p>静岡県総合教育センターでも長期研修員として複数の教員が配置され、年度末には研究成果を報告してもらっている。そういう者と共通する課題も多いかと思うので、今後、交流が広がり、様々な情報交換ができるようになればいいと思う。</p>	
<p>中堅教員は数も少なく、各校においても貴重な戦力だと思うので、派遣によっていなくなるのは正直なところ痛手でもあろう。ただ、その成長ぶりを見れば、行かせてよかったと感じられると思うので、是非、大学院での学びを現場へ還元してほしいと思う。</p>	